

実践例 県立矢板東高等学校(定時制)

教科・科目等 公民科・公共（1学年）

本時の目標

選挙権を通して、戦前と戦後でどのように政治・憲法に対する見方が変わったのかについて理解する。また、選挙の際に気をつけるべきことは何か考える。

育てたい資質・能力等

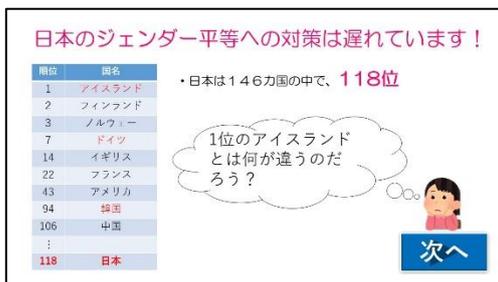
選挙権の拡大とそれに伴う女性の政治参加の過程について知る。（知性）

教材 教科書、タブレットPC、「人権の窓」（男女共同参画編）（高校生用）、ワークシート

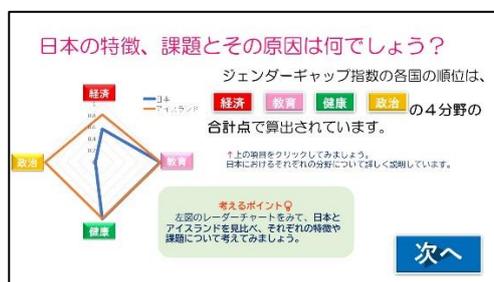
展開

●参政権や国務請求権など、基本的人権を確保するための権利について学びながら、ワークシートに取り組む。（公共の教科書、ワークシート）

●女性の投票権に関連し、現代の日本のジェンダーギャップ指数について触れる。



●ジェンダーギャップ指数を見て、日本の現状と課題を確認する。



1986 (2020) 14歳 年齢別選挙権 【現地適用】ワークシート 公民科 1984年版

人権の窓

1. 確認しよう
1945年の戦後憲法制定によって、国民の権利が大幅に拡大された。

2. 考えよう
1. 日本とアイスランドのジェンダーギャップ指数の差を比較し、その原因を考察しよう。

分野	日本	アイスランド
経済		
教育		
健康		
政治		

2. 考えよう
1. 日本とアイスランドのジェンダーギャップ指数の差を比較し、その原因を考察しよう。

※以前の学習で「世界の民主主義指数」の図を用いた問題を出した際に、生徒は「日本は分野別評価の中で『政治参加』のスコアが低い」と答えていた。今回の授業で女性の政治参加について確認し、参政権などの基本的人権を確保するための権利の重要性について理解が深まった様子が見られた。

「人権の窓」ワークシート